

事業所名 グループホーム町屋  
運 営 推 進 会 議 開 催 報 告 書

開催日時 2024年 8月 27日(火)		
参 加 者	議 題	
利用者 0名	① 行事報告	
利用者家族 0名	② 行事予定	
地域住民の代表者 1名	③ 身体拘束適正化検討委員会	
市職員 1名	④ 質疑応答	
地域包括支援センター職員 1名	⑤ 次回開催日	
事業所 3名		
会 議 録		
① 行事報告		
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 七夕 短冊に願い事を書いて頂き、笹に飾りつけをしました。昼食にはそうめん・天ぷらを提供させて頂きました。おやつには、夏を感じられるおやつを提供させていただきました。7月4日(1号館)、7月5日(2号館)</li>   <li>◆ 土用の丑 昼食にうなぎ丼、うなぎの巻き寿司を提供させて頂きました。利用者様方も暑い夏をうなぎを食べて元気に乗り切ってもらえたらと思います。7月24日(1・2号館)</li>   <li>◆ 夏まつり おやつ前にスーパボールすくいを行いました。その後、1号館は箱を使ったくじ引き、2号館は千本引きにておやつを選んでもらいました。夕食は利用者様にも調理を手伝って頂き一緒に夕食作りを行いました。出来上がった、焼きそば、お好み焼き、フルーツを夕食時に提供をさせて頂きました。夕食後、花火を行い、皆様「懐かしい。」「昔は、良くやったね。」と、とても楽しそうなお様子でした。8月14日(1号館)、8月20日(2号館)</li>   <li>◆ 誕生日会 7月9日 喫茶店に外出しました。(1号館) 7月4日 ファミリーレストランに外出しました。(2号館)、8月22日 喫茶店に外出しました。(2号館)</li> </ul>		

## ② 行事予定

- ・ 9月 敬老会・避難訓練・誕生日会
- ・ 10月 秋の味覚祭・誕生日会

## ③身体拘束適正化検討委員会

検討内容：「不穏・興奮、不眠、暴力による身体拘束を行わないための介護」

### 1. 不穏・興奮、不眠、暴力による身体拘束

・不穏は認知症の中核症状の一つ BPSD の一つ。不穏になり、興奮すると、利用者または職員に対しても攻撃的になり手が出たりと暴力行為になってしまう事もある。他入居者への迷惑行為を防ぐ為に、ベッドなどに体感や四肢をひもで縛ったり、自分の意志で開ける事の出来ない居室に閉じ込める、行動を落ち着かせるために向精神薬を過剰に服用させるなどは身体拘束にあたる。

### 2. 身体拘束をしない為の対応

・不穏などによる迷惑行為そのものを問題として考えるのではなく、原因や目的を考え、それを取り除けるように考える。本人の状況やリズムを把握する。不穏になるストレスはなかったか？職員が関わる時間を増やし、落ち着ける環境を整える事で不安状況を解消する。

・向精神薬の取り扱いとして、気持ちを落ち着かせる程度の向精神薬は使用する事がある。不穏があるからと言い、最初から向精神薬を使用する事はない。あくまでもしっかりと対応を行った上で改善が出来ず、余りにも他社への影響がある場合などに、主治医と相談して適量を使用する。歩行にふらつきが出たり、活気がなくなりぐったりしている症状がある場合はすぐに主治医に内服中止にしている。

・夜間不眠が続くと、日中に寝てしまい昼夜逆転になってしまう。夜間不眠にならないように日中は活動的に動いて頂く様に支援し、夜ゆっくり休めるように生活リズムを整えていく。

### ③ 質疑応答

#### ◇瀬戸市役所高齢者福祉課様

- 夏祭りなどのイベントでの費用はご家族様から頂いていますか？  
→ イベント内容によって異なりますが、お花見イベント、バーベキューなどのイベントではご家族様に負担をして頂く事もあります。また、イベントによっては、ご家族様から頂いている1食分の食費からイベントを計画する事もあります。
- 家族様へのイベント開催後の周知はどうされていますか？  
→ ご家族様へは、毎月近況やイベントでの様子などをお便りとして個別に郵送しています。その他に、町屋新聞という物を2か月に1回発行し、行事の写真を掲載して郵送しています。また、施設内にも町屋新聞、行事の写真の掲示を行っています。

#### ◇やすらぎ地域包括様

- ボランティアの受け入れなどは行っていますか？  
→ コロナ前は、歌、手品、踊りなどのボランティアの受け入れを行ってきました。第5類に移行した事もありますので、今後利用者様の楽しみの一つとして感染対策などを行った上で、ボランティア団体の受け入れも徐々に再開できたらと思います。
- 昼夜逆転されている方への支援方法は？  
→ 夜中起きていると日中ウトウトと眠ってしまい、昼夜逆転に繋がる事があります。まずは、日中個々の状態に合わせて活動的に過ごしてもらおう事や、夜パジャマに着替え、朝服に着替えるなどの生活リズムを整える事も大切だと考えています。
- 認知症マフを知っていますか。利用者様が認知症マフを使用したら、不穏が減少し落ち着いたという事例を聞いた事があります。  
→ 認知症マフは知っていますが、施設では使用した事ありません。今後、使用の検討をしていきたいと思います。

⑤次回開催日 2024年10月22日(火) 14:00